

-Index- 乳幼児期の子どもと接する時に大切にしたいこと②
 中学部「授業見学会・教育相談」のご案内
 第22回 近畿教育オーディオロジー研究協議会
 総会・講演会・講習会 — オンライン開催 —
 アプリ「おしゃべり描きUI」



乳幼児期の子どもと接する時に大切にしたいこと②

子どもの全体の発達を促すかわりをしましょう

「ことばで伝わる」「ことばが言える」ということは、小さいお子さんを育てている保護者の皆さんの大きな願いの一つでしょう。「手話を使う」「手話も使う」「できる限り音声」など、どのような「ことば」を手段にしていくのかということについても、悩まれることが多いかと思います。きこえにくい子どもとかかわる時には「ことば」に焦点が当たり、ことばが出ない=訓練をたくさん受けなければ、そして、ことばが遅い=絵カードで語彙を増やさなければ、あるいは手話を早く覚えなければ、などと焦ってしまうことも多いかと思います。

けれども、ことばを使って生活するためには、「ことばを教える」ことだけを進めるのではなく、**心身全体の発達**が大切です。例えば、体の成長では寝返り、おすわり、ハイハイ・・・と少しずつできることが増えていくと見えるものが変化し興味関心が広がります。そして手を使うことができるようになり、脳に刺激がたくさん入るようになります。食習慣では、母乳やミルクを卒業していろいろな味や食感を覚える、舌やくちびるやあごを動かしてなめたり噛んだりすることができる・・・というようにことばを話すための準備が整ってきます。そして、伝えたい相手が出て、伝えたい内容があり、それを受け止めてもらえそうな時に「ことば」の必要性がでてくるのです。補聴器や人工内耳を適切に装用し、**きこえを補う**こともことばの準備として大切なことです。



ハイハイが活発になったり、歩いたりできるようになる頃には、「自分で行きたいところ」「やりたいこと」「好きな物」がはっきりしてくるでしょう。危険のないように注意は必要ですが、十分に体を動かしたり、いろいろなものに触ったりする経験をさせてあげましょう。自分で感じた経験こそが「**伝えたい**」ことにつながります。子どもが思っていることや伝えたいことをくみとり、「○○行きたいのね」「○○をとってほしいのね」「○○、おいしいね」

などと話しかけましょう。その時、きこえにくいのですから、「**見てわかりやすい**」ということが、まず大切です。手話がすぐにわからなくても、視線をはっきり送る・表情豊かに話しかける・指差しを使う・やってみせる、などは子どもにとってわかりやすく効果的なかかわりです。

心身全体の発達とともに、「わかった」「伝わった」という喜びと安心感を保護者と子どものどちらもが感じることで、コミュニケーションの基礎となることばの力は伸びていきます。
 (早期教育担当：加藤 弓子)

「乳幼児期の子どもと接する時に大切にしたいこと①」は、No299(令和2年6月22日発行)に掲載されています。本校ホームページより閲覧可能となっておりますので、ぜひお読みください。



7/16

中学部『授業見学会・教育相談』のご案内

本校中学部では、聴覚障がいのある児童・保護者を対象とした、授業見学会ならびに教育相談を行っています。学校説明では、教育目標や本校中学部の取り組みについてお話しします。また、授業見学会では、視覚的な配慮やそれぞれの課題に応じた指導方法について、実際の様子を見ていただくことができます。

- 〈日 時〉 令和3年7月16日(金) 9:30 受付(9:50~12:40)
- 〈場 所〉 大阪府立中央聴覚支援学校(本館3階1年生教室、家庭科室など)
- 〈対 象〉 本校小学部6年生で、本校中学部への入学を希望・検討している児童・保護者
 通学区域内の大阪市立・守口市立小学校6年生で、本校中学部への入学を希望・検討している児童・保護者

〈時 程〉

時 間	内 容	場 所
9:30~	受付	本館3階1年生教室
9:50~10:40	学部説明	本館3階1年生教室
10:50~11:40	授業見学	各教室
11:50~12:40	教育相談	各教室

〈申込方法〉 別紙参加申込書を、在籍校を通して本校まで郵送またはFAXにて送付
 〈問い合わせ〉 大阪府立中央聴覚支援学校 中学部(担当：横山)

TEL 06-6761-1419 FAX 06-6762-1800 締め切り 7月2日(金)

